

## 堺市生涯学習基本方針（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
○第 1 章 「堺市生涯学習基本方針」について(1 件)		
1	<p>現在の堺市生涯学習支援計画が、令和 4 年 3 月で一旦終了との方針は間違っていると思う。わずか 5 年で方針を見直し、縮小するという考え方はシニア都市堺市の大きな汚点となってしまう。このような制度は半永久的に持続することに意義があり、市民のための大切な事業だと思う。</p> <p>コロナ下での不安ばかりの生活に、ストレスはたまる一方である。元気なシニアの生活に必要な制度をもっと拡大していくべき。</p>	<p>令和 4 年 3 月に「堺市生涯学習支援計画」の計画期間が満了することを受け、「堺市生涯学習基本方針」を策定します。今回の基本方針は、社会情勢の変化や国の動き、市民意識調査の結果等を踏まえて、必要な見直しを行うものです。前回の計画策定から 6 年が経過し、人生 100 年時代の到来や新型コロナウイルス感染拡大など、社会が変化する中、生涯学習の果たす役割は、ますます大きくなっていくものと考えています。今後も多様化する市民の皆様のニーズに対応し、本市の生涯学習がより充実したものとなるよう取組を進めます。</p>
○第 3 章 生涯学習の現状と課題(3 件)		
2	<p>人生 100 年時代による社会の転換と ICT の進化等、情報社会の急激な変化と新型コロナウイルスによる感染対策により、リモートによるオンライン学習が拡大してきているが、人口減少・少子高齢化、インフラ整備・公共施設の老朽化により講座や授業の開催が難しくなっている。</p>	<p>急速に社会の ICT 化が進む中、新型コロナウイルス感染症の影響により、さらにその動きは加速しています。オンラインによる学習機会の拡充が求められる一方で、人々が集まったり接したりする中で行う学びは、人と人とのより直接的なふれあいや交流を図るうえで、引き続き重要であるとの認識を持って取組を進めます。</p>
3	<p>共生社会に向けて、障害者も地域社会の一員として自立し、豊かな人生を送れるよう、生涯学習活躍できる環境を整えてほしい。</p> <p>団地や集会所等の空物件を活用するなど、横断的かつ総合的に施策を推進していただきたい。</p>	<p>共生社会に向けた取組として、障害のある方も含め、すべての人が生涯学習活躍できる環境を整えることが必要であると考えており、今後とも関係部局と連携を図りながら生涯学習施策を推進します。団地や集会所等の空物件の活用については、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>

## 堺市生涯学習基本方針（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
4	<p>感染症の影響でリモートでの会議や講習が主流化しそうな勢いだが、図書館、博物館、公民館等の必要性・重要性は変わらない。堺市の施設はいずれも老朽化が進み、建屋の機能も低下し、アフターコロナへの適応が十分にできるか懸念される。</p> <p>従前より、堺市は他市と比較して個人やグループ学習ができる公共施設の貧弱さが目立つ。喫茶店や学習塾等の民間有料スペースばかり増加しているが、これでは格差を助長し歪めてしまう。老若男女、誰もが安価に利用できる公共スペースの整備・充実について、堺市は根本的な思想から考え直す必要を強く感じる。</p>	<p>すべての市民が学び・集うことができる公共施設やスペースは、世代間交流を進め、活力のある地域社会を構築していくうえで重要であると考えています。現在、市内には公民館や図書館、博物館などの社会教育施設をはじめ、文化施設、スポーツ施設、子育て支援施設や老人福祉施設など生涯学習に関する様々な施設があります。今後、このような施設の情報を集約して発信し、より多くの市民のみなさまに必要な情報が届くよう取組を進めます。いただいたご意見につきましては、関係部局とも共有し、参考にさせていただきます。</p>
○第4章 堺市における生涯学習のこれから(4件)		
5	<p>オンライン形式での講座は単調になる傾向が強く、対面形式のほうがずっと良い。</p>	<p>オンライン形式の講座は、時間や場所を選ばずに誰でも気軽に受講できる一方で、対面形式と比較して一体感が乏しい、講師や受講者同士の交流が生まれにくいなどの課題もあります。これからの学びは、オンラインと対面による両者の組み合わせによって、さらに豊かなものになると考えています。今後も、新型コロナウイルス感染状況などの社会情勢を考慮しながら、オンラインと対面を上手く使い分けるなど両立を図りながら取組を進めます。</p>
6	<p>大学の社会人向け公開講座を、堺市内で出前形式により実施してもらいたい。</p>	<p>生涯学習に関する市民の多様な学習ニーズに対応するためには、知の拠点である大学をはじめとした多様な主体との連携が不可欠であると考えています。</p> <p>今後、各大学が実施している公開講座等の学習情報について、インターネットや情報誌等の媒体を用いた効果的な発信方法を検討していきます。</p>

## 堺市生涯学習基本方針（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
7	大阪市の生涯学習情報誌「いちよう並木」のような広報誌を堺市でも発行できないか。	生涯学習施策における取組として、学びの機会を拡充し情報をわかりやすく伝えることは重要であると考えており、今後、効果的な情報の発信方法について検討を進めていきます。本市において、大阪市の「いちよう並木」のような総合的な生涯学習情報誌を発行する予定はありませんが、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。
8	総合生涯学習センターを、堺市でも設置できないか。また、各区役所に同センターのサテライト施設を設置できないか。	本市では、市立公民館 6 館を設置し、市民の皆様が主体的な学習活動の場として幅広くご利用いただいています。また、市内には図書館や博物館などの社会教育施設をはじめ、文化施設、スポーツ施設、子育て支援施設や老人福祉施設など生涯学習に関する多くの施設があります。現時点では、総合生涯学習センターや各区役所に同センターのサテライト施設を設置する予定はありませんが、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。
○その他(2件)		
9	大仙公園内の中央図書館に隣接する自転車博物館が堺東に移転する予定である。現在の自転車博物館跡地の扱いを含め、中央図書館の建て替え実現を早急に進めてほしい。中央図書館の更新整備が進まないと、博物館・美術館の整備計画にも大きな狂いが生じてくる。	図書館は、教育と文化の発展に寄与することを目的とした社会教育のための施設であり、多くの市民の方にご利用いただいています。ご意見につきましては、関係部局と共有し、参考にさせていただきます。
10	堺区では青少年センターが建て替え時期に差し掛かっている。大道筋の堺消防署の跡地活用、エリア活性化開発も考慮に入れ、関係諸局と綿密な協議のうえ、決して“ブレる”ことのない計画整備の実現を、堺の前途を憂う一市民として強く希求する。	堺市立青少年センターは、青少年の心身の健全な育成を図るために設置された施設です。また、公民館、老人集会所、図書室が併設され、広く市民の生涯学習の場としてご利用いただいています。ご意見につきましては、関係部局と共有し、参考にさせていただきます。